

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス マザーズ城東		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが1年間用意されていて充実している。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当チームで会議を行うなど、組織的にプログラムを立案している。 ・実施季節等をふまえて1年分のプログラムが用意されている。 ・児童の利用曜日に配慮して、幅広い活動に参加できるようにスケジュールを組んでいる。 	今後も毎日の終礼時に当日の活動について活発に意見を出し合い、担当者が会議にて積極的に事業所内の意見として発言する。
2	保護者会の参加者数が多い。	保護者会を年2回実施し、子どもとのかかわり方についての講話や療育体験、保護者同士の意見交換など保護者の興味を引く内容にしている。	職員数の関係で、参加定員を限定しているため、参加できない保護者が一定数いる。他教室にも協力を要請して職員数を確保した上で、保参加定員を増やす。また、参加できなかった方にも、引き続き会の様子を紙面でお知らせしていく。
3	業務分担を効率的に行っている。	各業務ごとに担当があり、各自が得た情報を事業所内で共有して業務改善につなげてPDCAサイクルを築いている。	勤務時間の関係でパート社員が十分に参画できていないので、改善を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントはできているが、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントができていない。	有資格者（公認心理師）がおり、WISC等のキットも所有しているが、具体的にどのように実施するか形式が確立されていない。	アセスメントにより客観性を持たせるためにも、有資格者が外部研修等に参加して標準化されたツールについての知識を深めたり、事業所としてアセスメントの在り方を再検討したりしてフォーマルなアセスメントを実施できる体制を整える。
2	児童クラブ、児童館との交流の機会がない。	平日のみの開所という、時間的な制約で交流ができていない。	夏祭りなどの長期休暇中のイベントの際に、近隣児童館・児童クラブに働きかけてみる。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が保護者に十分周知されていない。	連絡アプリで確認可能であるということを十分に周知できていない。	療育活動で避難訓練を行った際などに緊急時対応マニュアルについて保護者に確認するなど、機会を見つけて積極的に保護者に周知していく。